

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	○日常的な外出支援 外出支援の基本として、毎朝の買出しや外周掃除・散水等には、交代で参加していただき、出不精の方や押し車・車椅子利用の方にも、外出の機会を確保できる様に配慮している。今春より単独、複数名での自由な散歩や外出について試みている。	入居者さん単独、複数名での買い物や散歩等、職員付き添いなしでの外出を拡大実施し、地域住民との交流を広げて、生活を楽しんでいただく。	①現在、入居者さん単独、複数名での買い物や散歩等、職員付き添いなしでの外出を試みている。 ②拡大実施に向けて、外出希望目的地を広げて調査する。 ③入居者別の嗜好や外出能力を調査・分析する。 ④目的地を順次拡大選定する。	5 ヶ月
2	3	○事業所の力を活かした地域貢献 地域の高齢者生活相談所として、近隣や通りがかりの方の見学や介護保険についての相談に、懇切丁寧に状況に応じたアドバイスを行ったり、地域包括支援センターや地区社協、事業者等の連絡先等もお教えしている。現在、運営推進会議や町会・老人会の役員会などで、具体的な地域連携について話し合っている。	大阪市内でも高齢者人口が多い地域でもあり、GHあいむとして積み上げてきた認知症の人の理解や接し方についてアドバイスをを行うことを中心に貢献していきたい。その他、地域の高齢者問題でお役に立つと共に、あいむの入居者も地域の方々により支えていただける相互支援関係を築きたい。	①運営推進会議、老人会役員会、住吉区実務者会議高齢者専門部会の各会議において、情報収集とニーズ調査を行っている。 ②サポートキャラバンメイト講師資格も取得して、地域貢献の準備を整えている。 ③地域の高齢者問題は様々な問題が山積しており、単に認知症の啓蒙活動や支援に問題に的を絞れていない状況である。	10 ヶ月
3					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。